	平成 27 年 7 (2015 年)	月 15 日
吹田市長	あて	
	住所 大阪市淀川区宮原五丁	目2-30
	※注1 沢井製薬株式会社 氏名	(FI)
	事業所 代表取締役社長 澤井	光郎
	電話 (06) 6105 -	– 5711
+ 44 0 12 14		
事業の名称	沢井製薬株式会社製剤技術研究新棟(仮称)建設	₹プロジェクト ────
対象事業区域	吹田市 広芝町12番11、12番12	
※注1	住 所 大阪市中央区本町四丁目1番13号	
設計・代理者	株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所 氏 名 川合 智明	
	電話(06) 一 (担当者:)
※注1	住 所 大阪市中央区本町四丁目1番13号	· · ·
	_氏	
│ 工 事 施 工 者 │	氏 名 執行役員大阪本店長 近藤泰正	
	電 話 (06) 6252 — 1201	
 事業予定期間	平成 26 年 (2014 年) 6 月 15 日	から
	平成 27 年 (2015 年) 8 月	17 日 まで
	計画部分 既存部分	숨 計
	対象事業面積 1,376.47 _㎡	m ² 1,376.47 m ²
	建 築 面 積 805.84 ㎡	m ² 805.84 m ²
事業の規模	延 べ 面 積 7,357.76 ㎡ ,	m 7,357.76 m
	最高の高さ 57.85 m	m
	鉄骨 造・一部 構 造 ・ 階 数	造
	… 地上 10 階·地	下階
		設 □ 増設
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業	
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的	:)
	☑ 建築物の新築又は増改築の事業	
事業の目的・内容	│ │ □ 工場・事業場 □ 住宅・共同住宅(│	戸)
	□□商業施設□事務所□公共	的建築物
	□ □ その他(:研究所 ┏) J
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業	受 付
	□ その他()	
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる	
	・ガイドライン取組事項チェックリスト	
添付書類	・工事関連車輌通行ルート図	
	・その他必要と認める図書	第 号

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

1. 環境保全

企業活動が環境に与える影響を正しく認識し、地域・社会と連携し地球環境の保全に取組みま

<mark>2. 環境負荷への配慮</mark>

3R(Reduce、Reuse、Recycle)の積極的推進を通じ、環境負荷の軽減を図ることで、 環境に優しい企業を目指します。

- 当該事業における ・周囲(近隣)への配慮と調和がとれたファシリティ環境まちづくり方針 ・環境に配慮した施設設計

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

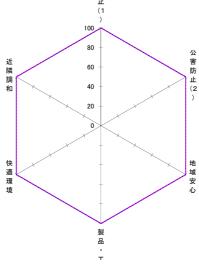
実施率

100 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 該当なしを除いた項目数





	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
施報告書	20	13	5	3	5	3
書	20	13	5	3	5	3
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	20	13	5	3	5	3
針	20	13	5	3	5	3

主な実施内容

- 1. 外部への飛散・騒音防止を徹底
- 2. 低騒音重機を使用
- 3. 打撃音の騒音の発生を防止
- 4. 清掃活動の実施
- 5. 敷地外への泥土の持ち出しを防止 6. 第三者最優先の誘導を実施

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 90.3 パーセント 実施した・一部実施したの項目数

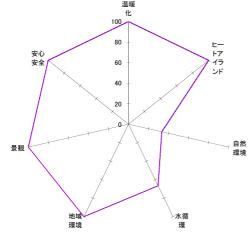
28

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

31





実	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
施報告	9	1	1	2	9	4	2
告書	9	1	3	3	9	4	2
		ı					ı

	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方	9	1	1	2	11	4	2
針	9	1	3	3	11	4	2

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

126.7 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

超高率変圧器、昼光センサー、節水型衛生器具、

画像センサーによる照明、空調制御 高効率空冷チラー、熱回収型空冷チラーと間接式排熱回収 ナイトモード、ヒートポンプ式デシカント、高顕熱PACエアコン

(2)緑地面積

緑化率

10.7 %

条例基準分

8.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用

雨水貯留量

0.0 t

うち雨水利用量

0.0 t

利用目的

【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工。
 - ・緑地、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採用を検討。
 - ・近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気口、廃棄物置場の位置などに配慮。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
88	実施する	該当なし
89	実施する	該当なし

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)				

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン 取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 内 容 実 施 の 有 無 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施し い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	な
大気汚 建設棚	5染や騒音などの公害の防止します。 _{機械}		
1	低公害型建設機械の使用	☑ 実施した□ 一部実施した⑥ 「実施しない □ 該当なし⑥ 「実施しない □ 該当なし 低排出ガス対策型、低騒音・低振動型の建設機械を使用しました。	,
2	低燃費型建設機械の使用	図 実施した □ 一部実施した 低燃費型の建設機械を使用しました。1台使用。 □ 実施しない □ 該当なし	
3	アイドリングの禁止	実施した	
4	環境に配慮した運転	▽ 実施した □ 一部実施した 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。 □ 実施しない □ 該当なし	
5	稼動台数の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した 工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。	L
6	工事の平準化	▽ 実施した □ 一部実施した □ 一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。 □ 実施しない □ 該当なし	
7	機械類の整備点検	図 実施した □ 一部実施した 機械類は適切に整備点検を行いました。 □ 実施しない □ 該当なし	
工事問	関連車両		
8	低公害車の使用	☑ 実施した □ 一部実施した 燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。 □ 実施しない □ 該当なし	
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した 大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しまじた。	L
10	工事関連車両の表示	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし 工事関連車両であることを車両に表示しました。	
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設 定	☑ 実施した □ 一部実施した 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避て設定しました。	
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車で数を抑制しました。	両台
13	工事関連車両台数の抑制	▽ 実施した □ 一部実施した 作業従事者の通勤、現場管理などには、徒歩、二輪車、公共交通がの利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました	
14	土砂の積み降ろし時の配慮		少の
15	タイヤ洗浄	図 実施した □ 一部実施した 周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行した。	ハま

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮		コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮しました。
17	場外待機の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両を場外に待避させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方 騒音•	法 振動等		
21	防音シートなどの設置	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置しました。
22	丁寧な作業	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん	・アスベスト		
25	解体、掘削作業の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	飛散防止対策		土砂などの堆積場で、粉じんが飛散するおそれがある場合は、飛散防 止対策をしました。
27	アスベストの調査など		他社にて既存建物解体撤去後、土地引渡しを受け、事業開始するた め該当無しです。
28	アスベストの飛散防止措置		他社にて既存建物解体撤去後、土地引渡しを受け、事業開始するた め該当無しです。
水質	F濁・土壌汚染・地盤沈下 		
29	濁水や土砂の流出防止	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
30	塗料などの適正管理及び処分		塗料などの揮発を防止し、使用済みの燃料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分しました。
31	土壌汚染物資の拡散防止措置		敷地面積が3,000㎡以下であり、土壌汚染対策法及び大阪府条例対象 外であることと、前建物は事務所で有害物質使用施設でないため該当 なしです。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	□ 実施した □ 一部実施した	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、土壌や地 下水を汚染しないよう施工しました。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	図 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭•	廃棄物		
34	アスファルト溶解時の臭気対策	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、臭気対策に配慮しました。
35	現地焼却の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
36	解体時の環境汚染対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	他社にて既存建物解体撤去後、土地引渡しを受け、事業開始するため該当無しです。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	□ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	地域との連携における事故の防止	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数 の警備員を配置し事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みました。
42	地域の防犯活動への参加	□ 実施した □ 一部実施した	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に	配慮した製品及び工法を採用します。		
	エネルギー消費の抑制	□ 実施した □ 一部実施した	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源	ē		
44	残土発生の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を極力抑制しました。
	廃棄物の減量	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な	環境づくりに貢献します。		
景観			T
46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 しました。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	□ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。
周辺0			
48	周辺道路の清掃	☑ 実施した □ 一部実施した	エ事現場内外を問わず、ボイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
49	場内整理	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒート	アイランド現象の緩和		
50	打ち水	☑ 実施した □ 一部実施した	夏期において雨水をためて、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域と	の調和を図ります。		
工事訓	说明·苦情対応		
51	工事内容の事前説明及び周知	□ 実施した □ 一部実施した	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また 工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。
52	苦情対応	□ 実施した □ 一部実施した	エ事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺0	D教育・医療・福祉施設への配慮		
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に教育・医療・福祉施設がありませんので該当なしです。
54	騒音、振動などの配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に教育・医療・福祉施設がありませんので該当なしです。
周辺の	D事業者との調整		
55	複合的な環境影響の抑制	□ 実施しない □ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の 通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域にお ける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者など と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	温暖化対策を行います。	,	
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用		大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう 努め、CASBEE-Aランクを目指した結果、CASBEE-Bランクとなりまし た。大阪府建築物環境性能表示制度は自社ビルのため対象外です。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネル ギー型の機器を採用しました。
58	再生可能エネルギーの活用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	太陽光発電の荷重を見込み、将来的に設置可能な対応を行いました。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討		エネルギー効率の高いヒートポンプシステムなどの導入を検討しまし た。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	[] X	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷凍冷蔵庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮しました。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制		採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させることで、建築物のエネル ギー負荷を抑制しました。
62	長寿命な建築物の施工	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
63	環境に配慮した製品の採用		リサイクル製品などの資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的 に採用しました。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の 採用		高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが少ない建設資材などを 積極的に採用しました。
ヒート	アイランド対策を行います。		
65	ヒートアイランド対策		積極的にヒートアイランドの抑制を行いました。(Low-Eガラスの採用、 条例基準面積以上の緑化確保)
自然環			
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	対象事業区域が商業地域で動植物の生息が無いため該当無しです。
67	地域のシンボルツリーの保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	対象事業区域にシンボルツリーが無いため該当無しです。
68	既存の植生の保全		対象事業区域に既存の植生が無いため該当無しです。
69	生物の生息空間の保全		対象事業区域に生物の生息空間が無いため該当無しです。
70	駐車場緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	事業採算上、駐車場の緑化は行いませんでした。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	事業採算上、屋上緑化は行いませんでした。
72	法面緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	法面が無いため該当無しです。
73	植栽樹種の選定	☑ 実施した □ 一部実施した	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。(サツキ、コグマザサ)
水循環	景を確保します。		
74	水資源の有効利用	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	事業採算上、水資源の再利用は行いませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水浸透施 設等を設置しました。
76	雨水浸透への配慮	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	緑地、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性のある舗装などを採用しました。
地域 <i>0</i>)生活環境を保全します。		
大気・	騒音・振動等	<u> </u>	
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機 器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や 振動対策を行いました。
78	防音サッシの設置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	幹線道路からの騒音は距離により減衰されるため該当無しです。
79	駐車場の配置計画時の配慮	▽ 実施した □ 一部実施した	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画としました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、排気口、廃棄物置場の位置などに配慮しました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策		ボイラー、エンジンなどの機器を設置したため、万全の排出ガス対策を 行いました。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光 の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に教育・医療・福祉施設がありませんので該当なしです。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)			
86	日照障害対策	☑ 実施した □ 一部実施した	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域ですが日影 図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	☑ 実施した □ 一部実施した	電波障害の発生が想定される範囲を、机上計算により事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	電波障害が生じていませんので該当なしです。
89	プライバシーの配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害しませんでしたので該当なしです。
景観まちづくりに貢献します。			
90	地域への調和	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊 重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮しました。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた 計画及び設計	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観資源の質の向上と地域性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配慮した計画と設計を行いました。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	景観形成にかかわるガイドラインや方針を有するエリアではありません ので該当なしでした。
93	景観形成地区指定の協議	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	対象事業区域が1ha未満のため、景観形成地区の指定は該当無しでした。
94	景観形成基準の遵守	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
安心安全のまちづくりに貢献します。			
96	歩行者が安全に通行できる空間整備	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	セキュリティ対策のため敷地境界にフェンスを設けるため、該当なしで した。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備機器を積極的に導入 し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的に導入し、安心安全に 配慮した適切な整備を行いました。

